



個人投資家向けオンライン会社説明会 ダイドグループの中期経営計画2026

ダイドグループホールディングス株式会社
(東証プライム : 2590)

2022年6月2日

- 01** **ダイドーグループホールディングスについて** **P.03**
- 02** **中期経営計画2026** **P.12**



01 ダイドーグループホールディングスについて

会社名	ダイドーグループホールディングス株式会社
本社所在地	大阪市北区中之島二丁目2番7号
代表者	代表取締役社長 高松富也
会社設立	1975年1月27日
事業年度	毎年1月21日から翌年1月20日まで
資本金	1,924百万円
発行済株式総数	16,568,500株
単元株式数	100株
株主数	35,089名
連結従業員数	4,029名

(2022年1月20日現在)



代表取締役社長 高松 富也

略歴

2004年4月	入社
2008年4月	取締役就任
2009年4月	常務取締役就任
2010年3月	専務取締役就任
2012年4月	取締役副社長就任
2014年4月	代表取締役社長就任（現任）

「こころとからだに、おいしいものを。」を皆様にお届けする

グループ理念



人と、社会と、共に喜び、共に栄える。

その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける。

グループビジョン

- DyDoはお客様と共に。** 高い品質にいつもサプライズを添えて、「オンリーDyDo」のおいしさと健康をお客様にお届けします。
- DyDoは社会と共に。** グループ全体で生み出す製品・企業活動「オールDyDo」が、豊かで元気な社会づくりに貢献します。
- DyDoは次代と共に。** 国境も既存の枠組みも越えて、次代に向けて「DyDoスタンダード」を創造します。
- DyDoは人と共に。** 飽くなき「DyDoチャレンジ」で、DyDoグループに関わるすべての人の幸せを実現します。

グループスローガン

こころとからだに、
おいしいものを。



創業以来、お客様に寄り添い、強みを発揮できる分野に集中した挑戦を続け、事業領域を拡大



*外部顧客に対する売上高 (2021年度実績)

2030年のありたい姿として、2019年1月に策定

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを クリエイトするDyDoグループへ

DyDoはお客様と共に。



お客様の健康をつくります

おいしさへの飽くなき探求心のもと、
世界中のお客様の健康や生活の質向上に
貢献する商品・サービスをお届けします。

DyDoは社会と共に。



社会変革をリードします

持続可能な社会のために、
常識に捉われず、新たな視点から
社会変革を自らリードします。

DyDoは次代と共に。



次代に向けて新たな価値を生み出します

革新的なテクノロジーを活用し、
すべてのステークホルダーに
ワクワクや驚きといった体験を提供します。

DyDoは人と共に。

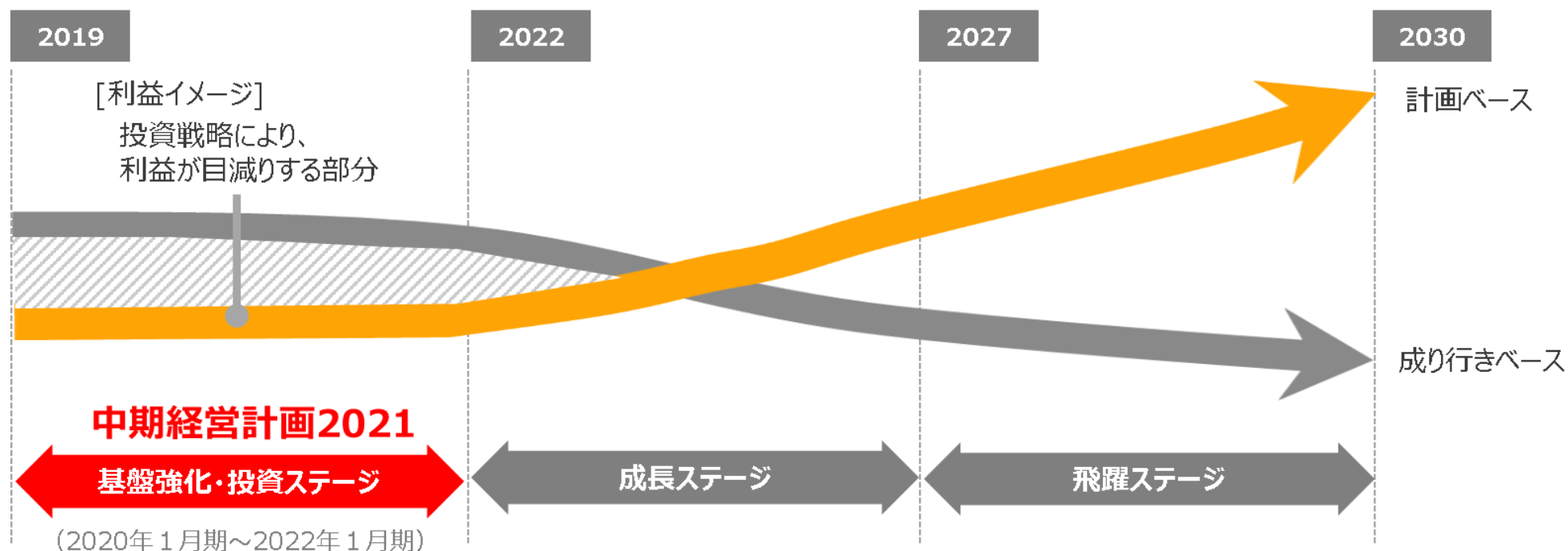


人と人のつながりをつくります

グループ内外と柔軟に連携し、
多様な価値観や能力を尊重しながら
新たな共存共栄を推進します。

グループミッション2030の実現に向け、2030年までの期間を3つのステージに区分

最初のステージである「中期経営計画2021」では、既存事業の収益力改善や、既存事業および新規事業への投資戦略を掲げ、**基盤強化を遂行**

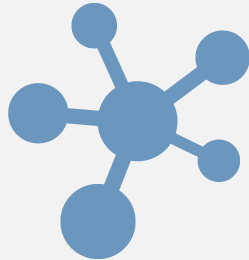


- 「中期経営計画2021」の3つの基本方針
 - 収益改善に軸足を置き、筋肉質な経営へ : 既存事業の収益力改善
 - 戦略的経営に向けた事業継続の判断 : 海外飲料事業の選択と集中
 - グループミッション2030の実現に向けた成長戦略 : 投資戦略の実施

新型コロナウイルスの感染拡大により事業環境は大きく変化

社会環境の変化、消費者の行動様式の変容は、当社グループにとっての大きな事業機会となりうる

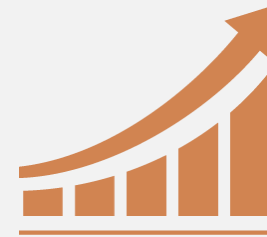
社会環境の変化



デジタル変革の加速



地球環境問題の切迫



サステナビリティ経営

消費動向の変容



デジタル浸透による
購買手段の変容

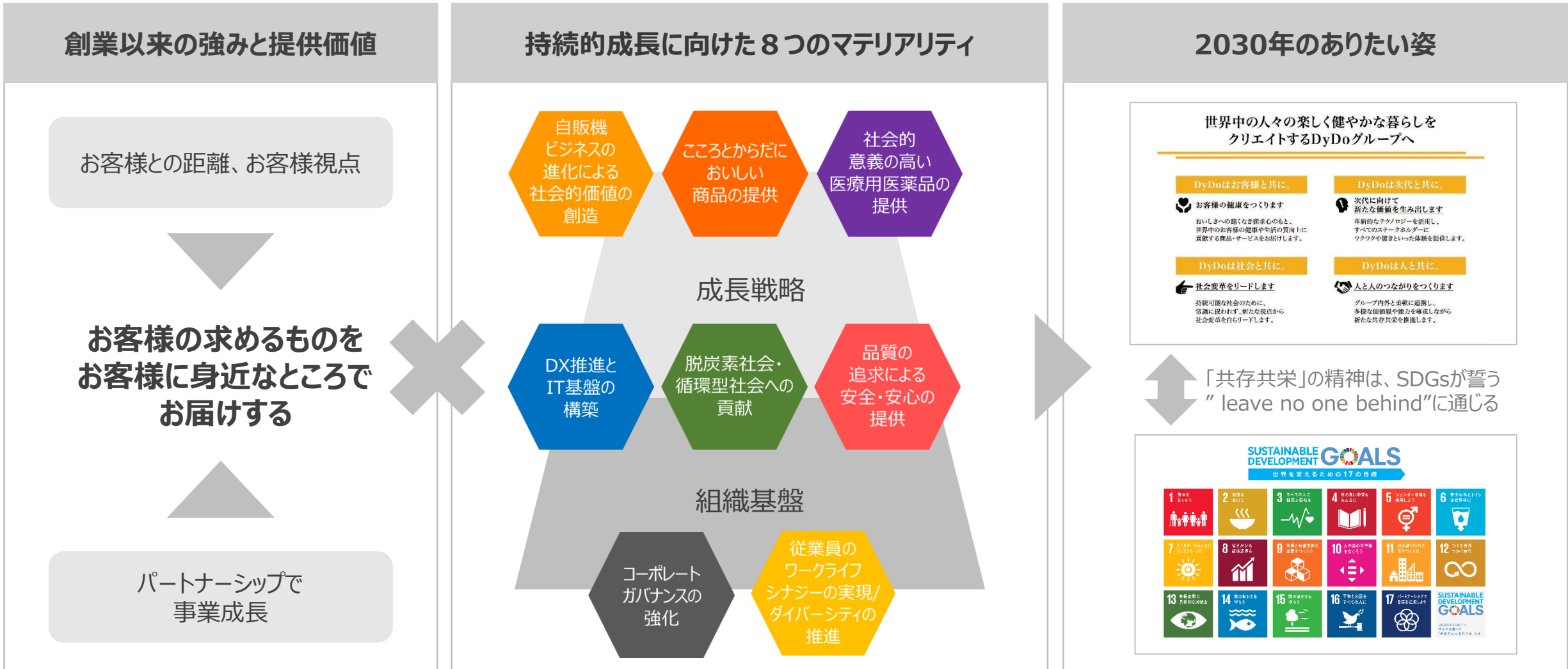


健康商品や環境対応
商品の需要拡大



多様な価値観や
ニーズへの受容と期待

グループ理念 人と、社会と、共に喜び、共に栄える。その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける



社会価値、環境価値、経済価値を高め、持続的成長を実現する

社会価値 世界中の人々が楽しく健やかに暮らすことのできる持続可能な社会の実現に貢献する

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを クリエイトするDyDoグループへ

環境価値 2050年までに自販機ビジネスにおける
カーボンニュートラルをめざす
(自社排出+自販機の電力消費による排出※1)

経済価値 中長期的な企業価値向上の実現をめざす

2030年までに

国内飲料事業

自社排出 (Scope1・Scope2) ※2

カーボンニュートラル

国内主要グループ会社※3

自社排出量 (Scope1・Scope2)

50%削減※4 (2020年比)

2030年1月期 連結ROIC

8%以上

※1 ダイダービバレッジサービスによるオペレーション自販機のCO₂排出量 (Scope3)

※2 ダイードリンク、ダイダービバレッジサービス、ダイダービジネスサービス

※3 ダイードリンク、ダイダービバレッジサービス、ダイダービジネスサービス、
大同薬品工業、たらみ

※4 売上高原単位 (対象グループ会社の排出量合計÷売上高合計) にて算出)

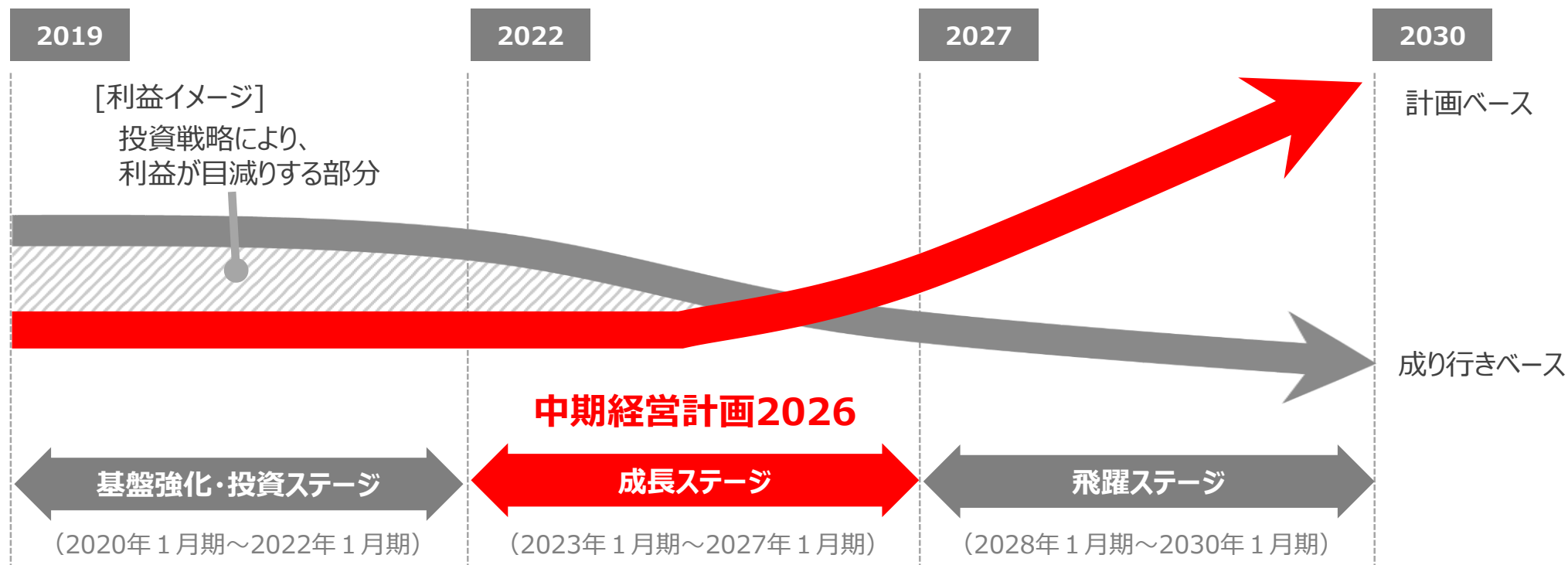
※投下資本はセグメントへの投下分



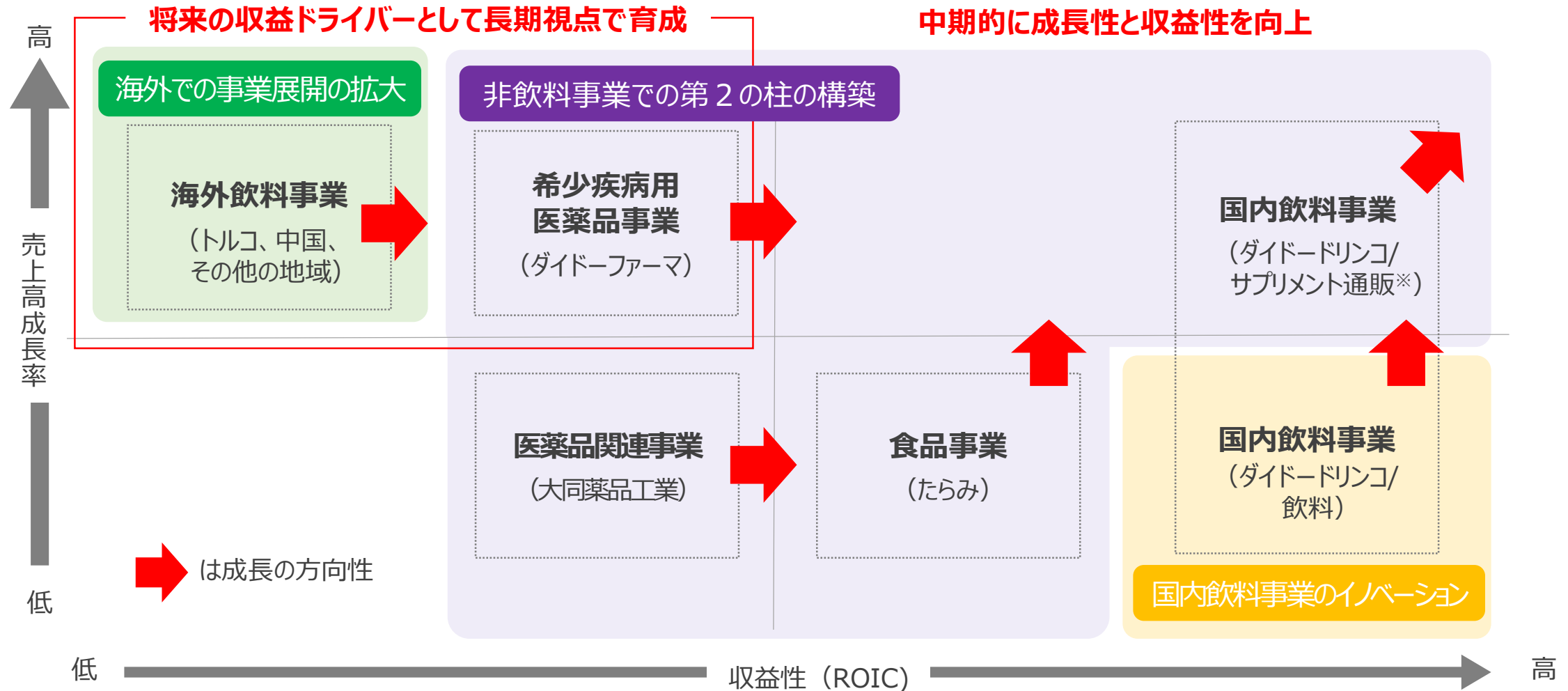
02 中期経営計画2026

「飛躍ステージ」に向け、3つの基本方針を推進

- 国内飲料事業の再成長
- 海外事業戦略の再構築
- 非飲料領域の強化・育成



「2030年のありたい姿」の実現に向けて、「国内飲料事業のイノベーション」「海外での事業展開の拡大」「非飲料事業での第2の柱の構築」の3つの基本方針を定め、事業ポートフォリオ戦略を推進



* サプリメント通販は、ダイドードリンクが育成中の事業のため、会計上の事業セグメントは国内飲料事業に含まれます。

3つの基本方針に基づき、グループミッション2030の実現に向けた提供価値の拡大をめざす

国内飲料事業の再成長

- ビジネスモデルの進化による継続的な事業成長の実現
 - （自販機チャンネル）自販機台数の拡大やDyDo店舗ブランドの創出による自販機収益の拡大
 - （自販機チャンネル）スマート・オペレーション展開による収益構造の変革および全自販機への拡大
 - （流通チャンネル）付加価値の創出により、独自ポジションの確立

海外事業戦略の再構築

- 既存事業の拡大
 - （トルコ）新たな水源の確保や工場設備の増設によるミネラルウォーター事業の拡大、輸出事業の拡大
 - （中国）現地製造品の拡大による売上・利益成長
- 事業戦略の再構築
 - 機動的な事業展開を可能にする事業体制の検討
 - 新たな事業エリアの検討開始
- グローバルブランドの育成
 - 海外専用品の輸出拡大に加え、ダイドリンコ（国内飲料事業）と連携した商品開発によるグローバルブランドの育成

非飲料領域の強化・育成

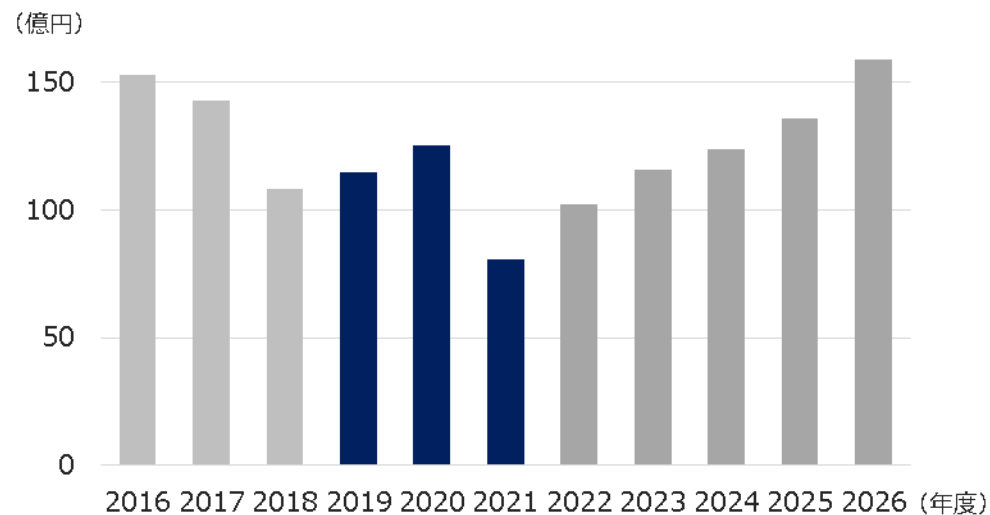
- 【国内飲料（サプリメント通販）】基幹商品ロコモプロの売上最大化と、ロコモプロに続く2品目の商品育成
- 【医薬品関連】工場稼働率の向上と品質体制の更なる強化
- 【食品】新たな販路やカテゴリでのビジネス機会の創出
- 【希少疾病用医薬品】希少疾病の医療用医薬品事業の育成

【カッコ】は事業セグメント

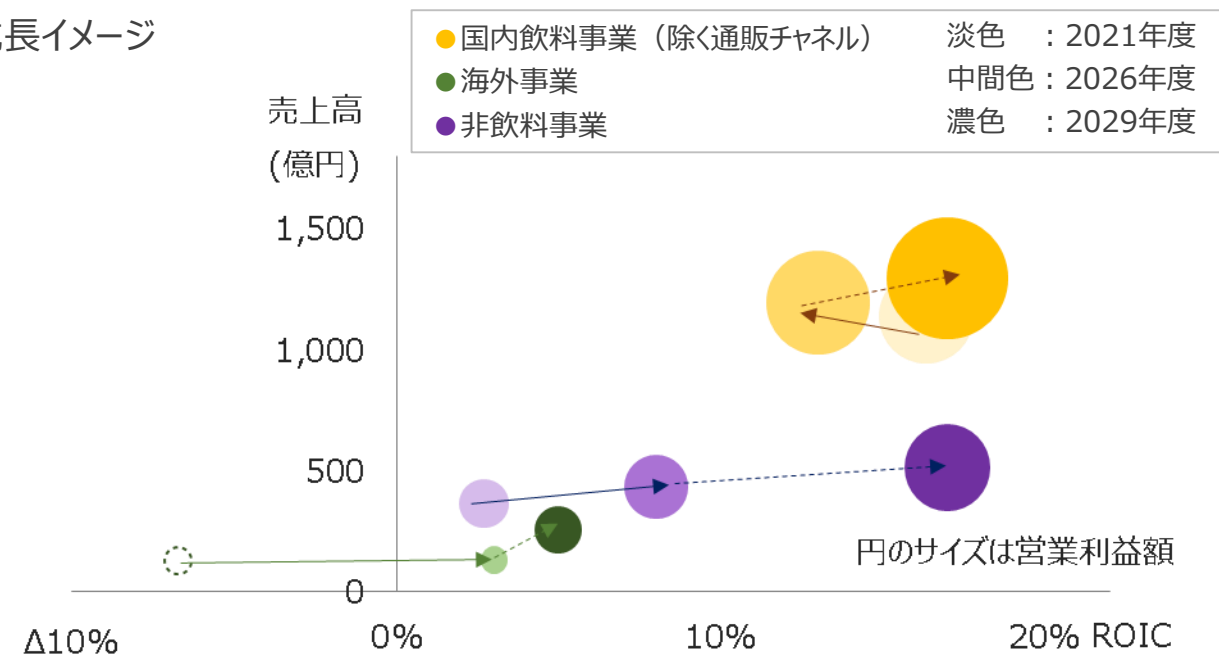
自販機ビジネスにおけるキャッシュ・フロー創出力の回復と、ヘルスケア領域への投資・育成



営業キャッシュ・フローの推移



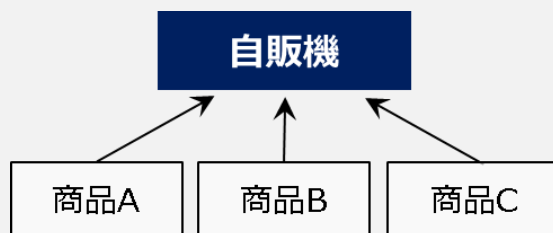
成長イメージ



当社の国内飲料事業は、自販機が売上の中心を担っており、再成長には欠かせないポイント

特徴① 「自販機を店舗」と位置付ける小売業の発想

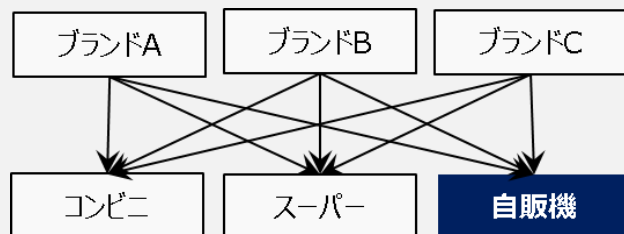
- 当社の考え方



売上高に占める
自販機の割合

79%

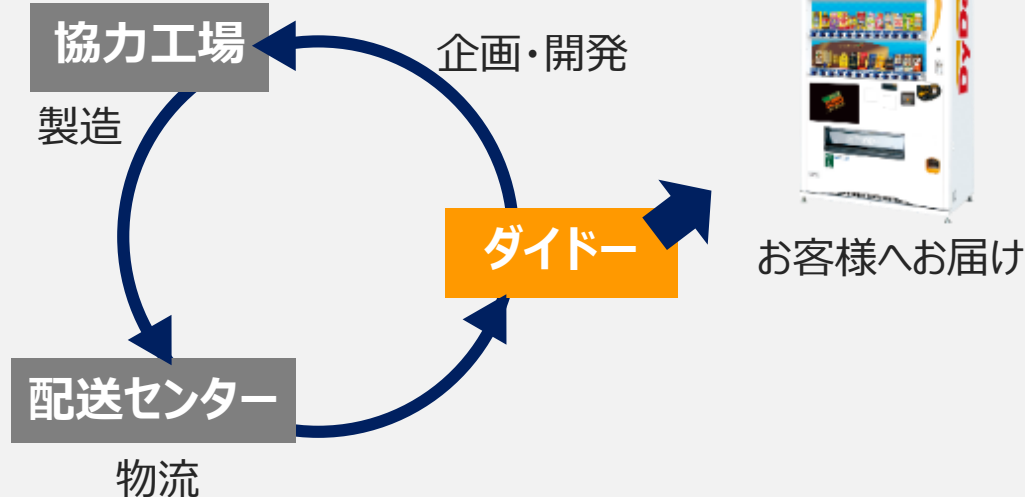
- 一般的な「飲料メーカー」の考え方



(業界平均)
約20%

出典：全国清涼飲料連合会「清涼飲料水関係統計資料」

特徴② ファブレス経営による効率的な事業運営



環境認識を踏まえ
た今後の課題

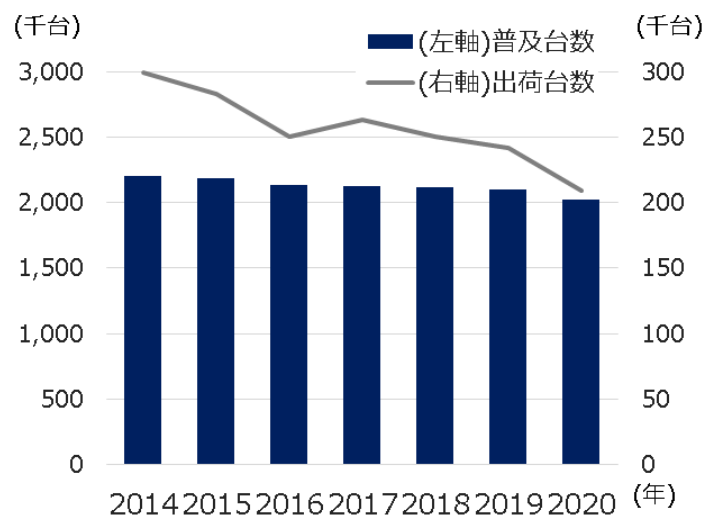
- ①お客様との接点(店舗数・利用数)を増やすこと
- ②労働力が不足する環境でも効率的に運営すること

「顧客志向営業」を推進し、質（PM※）×量（台数）の最大化を図る ※自販機1台あたり売上高

外部環境のトレンド/課題

■ 自販機台数は年々減少傾向にある

【図表】日本国内の自販機普及台数・出荷台数推移



「経済産業省生産動態統計年報（機械統計編）、日本自動販売システム機会工業会より、当社作成」

当社の売上成長に向けた取り組み

- 自販機台数の増加
 - ・ 新規設置場所の開拓強化の継続
- 高いPMが見込める先への設置促進
- 既存自販機のPMの最大化への取り組み
 - ・ 設置場所に応じた商品ラインナップの最適化、販売価格の適正化

DyDo 解決策のご提案

お取引先の抱える課題例

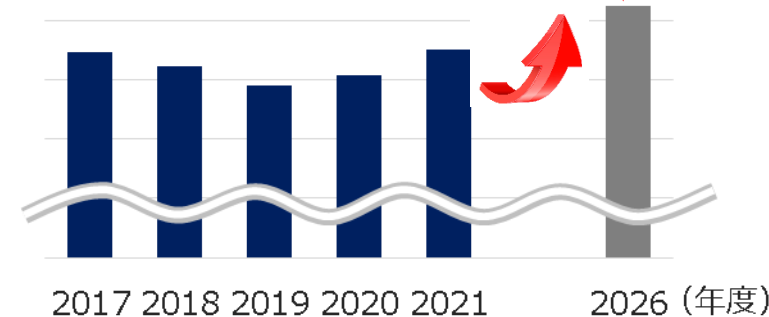
- ・ 手ぶらでも飲料を買いたい
- ・ 従業員満足度を上げたい
- ・ 環境活動をPRしたい etc.

顔認証自販機の設置

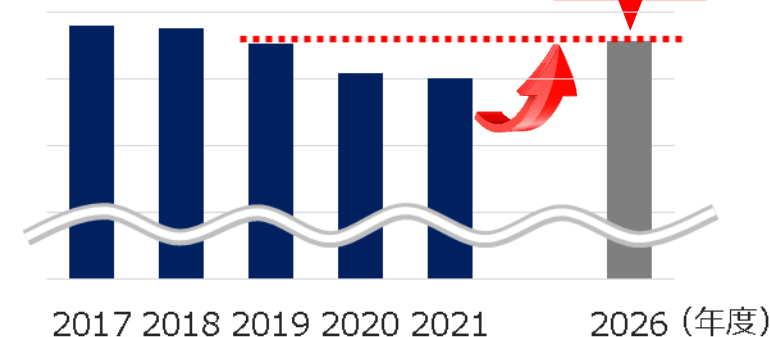
脱ペット対応のラインアップ

etc.

■ 当社の期末稼働台数の推移 **5.5%増**



■ PMの推移 **8%増**

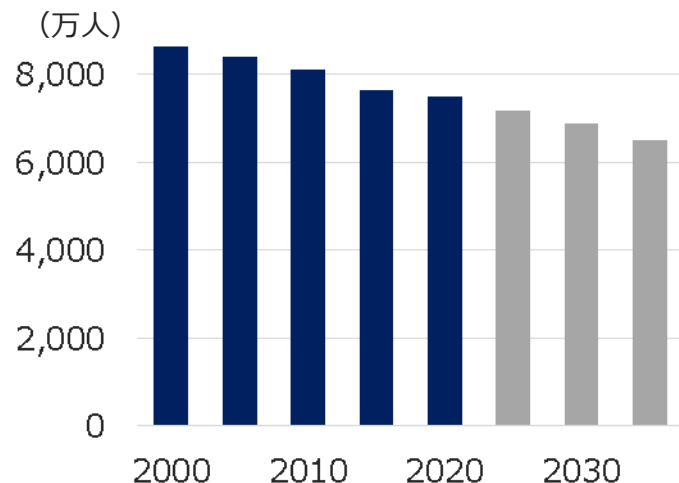


スマート・オペレーション体制を確立し、時代やニーズにあわせて常に進化させ続けていく

外部環境のトレンド/課題

労働人口は減少が続いている

【図表】日本の生産年齢（15～64歳）人口の推移



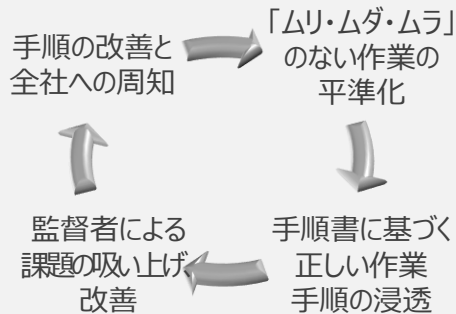
※総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」より当社作成

スマート・オペレーションによる提供価値拡大に向けた取り組み

従来のオペレーション



スマート・オペレーション



スマート・オペレーション体制の確立により想定される効果

- 全台オンライン化に伴うデータ活用による売上の最大化
- 業務効率化とともに、働き方の多様化を推進
- オペレーション、事前ピッキング作業の最適化に向けた継続的な改善

当社オペレーション担当者 1 人当たり売上高を 2026年度までに20%アップ（2021年度比）

コア事業である自販機ビジネスを中心に目標を定め、脱炭素社会・循環型社会の実現に向け、企業責任を果たす

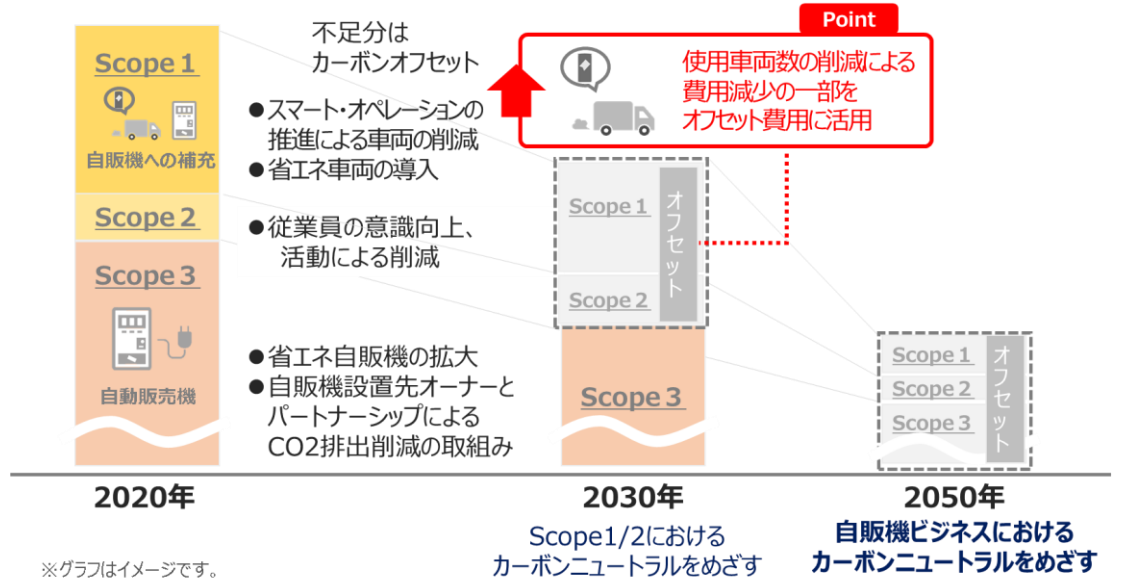
CO₂削減目標の策定



循環型社会の実現に向けた重点目標



自販機ビジネスでの自社排出相当量の削減イメージ



今回ご紹介しきれなかった事業についても、随時説明会などを開催しています

国内飲料事業

- 工場見学動画の掲載
(自販機整備工場)
- 個人投資家向け説明会の
実施 (今回/過去複数回)

7月12日(火) 20時より、
サプリメント通販事業の説明会を開催します！
ぜひご参加くださいませ。

海外飲料事業

医薬品関連事業

- 工場見学動画の掲載
(ドリンク剤/パウチ製品)
- 個人投資家向け説明会
の実施 (予定)

パウチ製品の受託製造にチャレンジ！「大同薬品工業」本社工場へ潜入！

2019年9月、新たにパウチ製品の受託製造をスタートしました。医薬品・医薬部外品規格の製品を大量に受託製造できるのは日本で大同薬品工業だけ！製造工程とともに、実現に至るまでの各部門でのチャレンジについてご紹介しています。



(2022年3月公開)

動画を再生する >

当社ウェブサイトより
ご視聴いただけます！



食品事業

希少疾病用
医薬品事業

- 工場見学動画の掲載
(たらみのゼリー工場)
- 個人投資家向け説明会の
実施 (2022年1月)



過去の説明会は
こちらから！



ダイドグループホールディングス株式会社ウェブサイトよりご覧いただけます
<https://www.dydo-ghd.co.jp/individual/online/>

「こころとからだに、おいしいものを。」お届けし、世界中の人々の楽しく健やかな暮らしをクリエイトする。

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを クリエイトするDyDoグループへ

国内飲料事業

自販機市場において、絶え間ない
挑戦と共創で新しい価値を提供し、
トップランナーとして業界をリードし続けます

こころとからだに、
おいしいものを。



希少疾病用医薬品事業

治療選択肢のない
希少疾病に苦しむ患者様へ
治療薬を提供します

海外飲料事業

世界中の人々の健康を支える
グローバルブランドを生み出します

医薬品関連事業

「健康・美容」分野での
製造受託企業NO.1になります

食品事業

フルーツとゼリーを通して
「おいしさ」と「健康」を追求し、
すべての人々を幸せにします



質疑応答
